

国際医療福祉専門学校七尾校

理学療法学科評価

自己点検・評価書

平成30年4月

国際医療福祉専門学校七尾校

自己点検・評価書について

この自己点検評価は「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程（平成25年文部科学大臣告示第133号）」が平成25年8月30日に公布・施行されたことに
対し、平成25年度から実施したものである。職業実践専門課程とは、専修学校の専門課程
（以下「専修学校専門課程」という。）であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力
を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について
組織的な教育を行うもの（以下「職業実践専門課程」という。）を文部科学大臣が認定し
て奨励することにより、専修学校専門課程における職業教育の水準の維持向上を図るこ
とを目的としている。

本校では、「確かな技術力と豊かな人間性を育む」という理念のもと「教育基本法及び学校
教育法に基づき専修学校教育を行い、救急救命士，理学療法士，作業療法士及び介護福祉
士として必要な知識及び技能を教授し，社会に貢献できる人材を育成すること」を教育目的
として即戦力としての専門職の育成に努めているところであるが、この自己点検評価結果
を公表し、外部からの第三者評価を受けることで学校運営、学生教育において改善できると
ころは改善し、より良い学校にしていきたいと考える。

平成30年4月 国際医療福祉専門学校七尾校

評価項目の達成及び取組状況

I. 教育理念・目標

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや適切、1：不適切

評価項目		4	3	2	1
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	学校における職業教育の特色は何か	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

I-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか

【課題】

本校の理念は「確かな技術力と豊かな人間性を育む」であり、目的として「教育基本法及び学校教育法に基づき専修学校教育を行い、救急救命士、理学療法士、作業療法士及び介護福祉士として必要な知識及び技能を教授し、社会に貢献できる人材を育成すること」を掲げている。このような理念・目的から、高度な専門性と愛情あふれる人間性を兼ね備えた即戦力としての専門職という育成人材像が見出されている。

【改善方策】

学校の理念の実現、目的・育成人材像を達成するための教育目標の検討・再検討をし、より具体的に明示していくことが必要である。また、学生・保護者、地域住民に対しても本校の考えが十分に伝わるように、定期的な広報、学校内外等での提示を行っていく。

I-2 学校における職業教育の特色は何か

【課題】

臨床に基づいた技術の向上を主目的とした専門教育、社会人基礎力向上を目的とした職業レディネス教育の二大教育を展開し、即戦力としての専門職の育成に努めている。

【改善方策】

専門技術、社会人基礎力に焦点を当てることで、大学との差異化を明確に保ちながら、地域社会へ貢献できる即戦力としての人材育成に努めていく。

I-3 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか

【課題】

本校は理学療法士・作業療法士・救急救命士・介護福祉士の養成校であり、日々、社会保障制度の改変によって当該職種の業務拡大等が進んでいる。また、2042年に向けて高齢社会が進んでいく中で、医療・福祉専門職のニーズは一層高まっていくことが予測されるが、少子高齢、地方都市の過疎化という現状に対して本校の立地条件を考慮すると、入学者数の安定化を図っていくことは大きな課題となる。

【改善方策】

診療報酬・介護報酬・各職種法の改定によって変化していく医療・介護現場、各専門職の職域・業務拡大に迅速に対応できる教育体制を継続的に検討していく。また、地域交流、北陸の高等学校との情報共有を引き続き行うことにより、本校の学科を含めた医療・福祉分野の認知度を上げていくことに努める。

II. 学校運営

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや適切、1：不適切

評価項目		4	3	2	1
4	目的等に沿った運営方針が策定されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	意思決定システムは確立されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

II-4 目的等に沿った運営方針が策定されているか

【課題】

委員会への権限移譲等によるボトムアップ方式の意思決定システムを活用した運営を行っているが、明確な運営方針は策定されていない。また、本校を運営する学校法人との連携強化を図っていくことも課題となる。

【改善方策】

学内の運営方針策定機関としては総務委員会が位置しており、当該委員会にて運営方針の明確化を行っていく。

II-5 運営方針に沿った事業計画が策定されているか

【課題】

本校の目的等に沿った教育活動計画立案は教務委員会、それ以外の事業計画立案は総務委員会が担っており、年次単位での学校事業等の実施、見直しが行われている。

【改善方策】

運営方針の明確化を図り、適切な運営方針に則った学校事業計画の策定を行っていく。

II-6 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか

【課題】

運営組織や意思決定機能についての規則等は学内のもののみ存在しているが、本校を運営する学校法人全体としてのものは不明確である。

【改善方策】

運営組織、意思決定機能を規則等において明文化していくことは将来的に必至であり、まず、短期～中期目標として本校を運営する学校法人との連携を密に図っていけるようになることが必要である。

Ⅱ-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

【課題】

職業実践専門課程の規程によって、本校ホームページ、学校案内パンフレット、SNS（ソーシャルネットサービス）、雑誌等にて幅広く本校の教育活動等の取り組みの情報を公開している。

【改善方策】

今今後も継続してホームページによる情報公開の強化を図っていく。

Ⅱ-8 意思決定システムは確立されているか

【課題】

各委員会にて各々の分野の計画、審議等を経て、定例の全体会議にて決定をしていく。教務部、事務部の審議事項においても本会議が最終意思決定の場として位置付けられている。常設委員会は月に1回定例会議を実施し、全体会議は週に1回開催することで、全教職員が本校の現状を詳細に把握して問題意識を持って学校運営に携わっていくことを目的としている。

【改善方策】

合理的で効率的な組織編成を継続して検討していく。

Ⅱ-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

【課題】

LAN サーバーを用いて職員間で情報を共有し、業務の効率化を図っているが、情報量の増加によりフォルダ、ファイル整理を徐々に行っている。

【改善方策】

共有フォルダの整理を定期的に行っていく、情報システムを最大限に活用していく。それと同時に、IT のみに意識を向けることなく、職員間の交流を密に行い、連絡・報告・相談機能をより意識的に高めていく。

Ⅲ. 教育活動

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや適切、1：不適切

評価項目		4	3	2	1
10	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19	職員の能力開発のための研修等が行われているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Ⅲ-10 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

【課題】

教育課程の編成は、本校の理念である「確かな技術力と豊かな人間性を育む」という方針に基づき、教育課程の編成がなされ、実施方針も明確に策定されていると思われる。

【改善方策】

今後も、実践力のある理学療法士を養成すべく、具体的な方策をとっていく。

Ⅲ-11 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

【課題】

1年次は基礎学力の習得と、社会人としての基礎能力の向上、2年次に理学療法評価の方法論と、学内実習、3年次に臨床実習で2年次まで学んだことの実践を行い、国家試験合格を目指すという明確な教育到達目標が設定されており、その取得のための学習時間確保もほぼ明確にされている。

【改善方策】

臨床評価実習、総合臨床実習の到達目標も今以上にわかりやすく明確にする。

Ⅲ-12 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

【課題】

教育課程編成委員会にて平成 27 年度以降の教育カリキュラム変更を検討し、専門教育内の分野の適正化を図るために各授業の配分調整を行い、平成 27 年度より新教育カリキュラムでの授業展開の実施となる。

【改善方策】

3 年を目処に、教育カリキュラム編成の検討を引き続き実施していく。

Ⅲ-13 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

【課題】

入学前オリエンテーションにて入学前に理学療法の施設見学を課題として、理学療法の職業イメージがなされてから、入学し、その後も、施設見学等などで職業に対する関心を高めつつ教育を行っている。

【改善方策】

今後も、具体的職業イメージが早期からなされ、モチベーションのアップを図るため、1 年次の夏休み時に全員で金沢市にある県の施設に見学に行っているが、その他の施設見学等もできるようにしていく。

Ⅲ-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

【課題】

教務活動、学校環境等に対する振り返り・課題に対する改善策の検討と実施、各イベントの振り返り等を例年行っているが、「専修学校における学校評価ガイドライン」(平成 25 年 3 月文部科学省策定)に基づく自己評価と授業評価は実施したので、今後も継続して行っていく。

【改善方策】

今後も「専修学校における学校評価ガイドライン」(平成 25 年 3 月文部科学省策定)に基づく自己評価を実施していくことで、全教職員が学校・学科の現状、課題を把握し、より広い視野で改善方策を見出していくことができるように努める。また、毎年 3 月に当該年度の自己点検・自己評価を計画的に継続して行っていく。

Ⅲ-15 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか

【課題】

リハビリテーション教育評価機構の認定校である。平成 27 年度より職業実践専門課程の認定も受け、外部関係者からの評価を得ること、学校運営・教育編成について外部関係者の意見を取り入れることを目的とし、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会を定期的に開催していく。(年に各 2 回以上)

臨床実習に関して、臨床実習指導者会議を毎年 11 月に開催しており、その時に本校理学療法学科の教育、学生指導について意見を聞き、改善策を話し合っている。

【改善方策】

引き続き、外部からの意見を取り入れた学校教育体制づくりに努めていく。

Ⅲ-16 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

【課題】

成績評価・単位認定等は明確な基準を設け適切になされ、教員会議にてそのつど決定されている。

【改善方策】

今後も、明確に評価を行っていく。

Ⅲ-17 資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

【課題】

国家試験対策を早期から行い、プロフェッション養成講座等で、社会人基礎力の強化も行っている。

【改善方策】

資格取得に対する指導は適切になされており、今後は明確にカリキュラムの中にわかりやすく位置づけていく。

Ⅲ-18 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

【課題】

1名欠員している状態である。専任教員は皆キャリア豊富であり、人材育成にたけている教員がそろっている。

【改善方策】

求人募集を行い、人員の補充するとともに、時代にマッチした教育指導を行い、あらゆる社会で通用する理学療法士を養成する方法論を取り入れていく。

Ⅲ-19 職員の能力開発のための研修等が行われているか

【課題】

厚生労働省の行う教員等長期講習会に専任教員を参加させている。プログラムを組んで定期的に教員に対しての学内、学外での研修体制は、的確には確立されていない。各個人で研修、学会等に参加している。

【改善方策】

今後は学内での研修体制を確立していく。

IV. 教育成果

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや適切、1：不適切

評価項目		4	3	2	1
20	就職率の向上が図られているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21	資格取得率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22	退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

IV-20 就職率の向上が図られているか

【課題】

2年次から就職希望調査を行い、早い段階から就職に対する意識付けを行った。また、3年次から就職対策を細かに指導している。

【改善方策】

今後も、2年次からのセミナー等の時間も有効活用し、早期から指導する。

IV-21 資格取得率の向上が図られているか

【課題】

国家試験対策委員会を中心として、2年次終了時から国家試験対策プログラムを組み、国家試験取得100%を目標に取り組んでいる。3年次の総合臨床実習終了後から国家試験対策集中講義を豊富に取り入れて実施している。また、1年次から基礎医学を中心とした国家試験関連の講義を授業の中でも取り入れている。基礎学力の向上しない学生に対する個別指導も行っているが、十分にはできていない。

【改善方策】

今後も、基礎学力の向上しない学生に対する個別指導を1年次早い段階から徹底して行って行く。

IV-22 退学率の低減が図られているか

【課題】

学力、精神的な問題で単位取得困難な学生が毎年数名出ており、休学をはさみ退学する学生もいる。学生自治会が設立し、学生主体の学校イベント等への積極的な参加が行われている。またドロップアウトしそうな学生に対しては1年次前期定期試験終了時から、学業、精神面のケアを手厚く行った。

【改善方策】

今後も、学生が主体的にいろいろなイベントに参加できるように教職員が援助し、ドロップアウトしそうな学生に対する学業や精神面でのケアも手厚く行って行く。

IV-23 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

【課題】

同窓会と連携し、卒業生の情報交換を行っている。

【改善方策】

卒業生・在校生の社会的な活動はある程度把握しているが、学生の対外的な評価についても今後把握して、社会貢献できる人材の育成に役立てていきたい。

V. 学生支援

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや適切、1：不適切

評価項目		4	3	2	1
24	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25	学生相談に関する体制は整備されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28	課外活動に対する支援体制は整備されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
29	学生の生活環境への支援は行われているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
30	保護者と適切に連携しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
31	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

V-24 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

【課題】

学科ごとに、担任が主導となり学生に対する個別指導を行っている。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施する。また、必要に応じて改善する。

V-25 学生相談に関する体制は整備されているか

【課題】

相談内容や学生の個性に応じて、適格と思われる教員が個別の相談に応じている。その後、教員会議にて教員間で情報共有を行い、対応策を講じている。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施する。また、必要に応じて改善する。

V-26 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

【課題】

経済的支援を必要としている学生に対して、日本学生支援機構奨学金制度をはじめ地方公共団体の奨学金制度などを取り扱っている。その他、社会医療法人財団董仙会及び社会福祉法人徳充会介護福祉士修学資金貸与制度を紹介している。

入学時、転学科時、留年（原級留置）時の減免型奨学金および入学時、在学時の成績優秀者への給付型奨学金の制度もある。

また、安価な学生寮や無料の送迎スクールバス等を運行し経済的負担を軽減している。

【改善方策】

オリエンテーション等を通して制度の内容を理解してもらうことも必要である。また、経済状況に応じて改善していく必要がある。

V-27 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

【課題】

学生の健康管理について、学校医を配置し、その他に入学時の健康調査や在学時の定期健康診断等を実施しているが、健康管理体制が明確化されていない。情報の共有および医療機関との連携が組織的には行われていない。性感染症、流行感染症等に関する講演会の開催、流行感染症対策マニュアル等の作成は行われている。

【改善方策】

学生生活委員会内に健康管理部門を新設し、定期健康診断の実施のみならず、日常の健康・メンタルヘルス管理についても徹底し、医療機関との連携も図っていく。

V-28 課外活動に対する支援体制は整備されているか

【課題】

学校所在地近隣地域の医療・福祉・介護分野の施設・機関等から依頼されたボランティア活動を掲示し、希望する学生の課外活動を支援している。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施する。また、必要に応じて改善する。

V-29 学生の生活環境への支援は行われているか

【課題】

学生生活委員会により、全学生（特に学生寮入寮者）には随時生活指導を行うとともに生活環境の改善に向けて環境整備を行っている。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施する。また、必要に応じて改善する。

V-30 保護者と適切に連携しているか

【課題】

1年次前期および2年次後期に保護者懇談会・臨床実習前オリエンテーションを行い、保護者との情報共有ならびに連絡調整を密に行っている。また、必要に応じて保護者との個別面談ならびに学生を交えた3者面談を行っている。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施する。また、必要に応じて改善する。

V-31 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

【課題】

入学前オリエンテーションや職種紹介、模擬授業を行うことにより、キャリア教育として高校・高等専修学校等との連携を行っている。年に1回高校教員ガイダンスを実施し、本校の特色等についての説明会を実施している。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施し、その活動範囲の拡大をはかっていく。

VI. 教育環境

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや適切、1：不適切

評価項目		4	3	2	1
32	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
33	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
34	防災に対する体制は整備されているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

VI-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

【課題】

理学療法修得のための施設・設備は適切に整っている。また、設立 9 年目となり老朽化した機材が出てくることが予測されるが、現在は使えなくなった主要な設備はまだ無い。また、学校の閉校時間が 19：30 となっているが、学生からの要望が合った場合には時間外の開放を行っており、グループワーク学習等で自由に使える学習室を設置した。図書室の貸出等の手続きが確立しておらず、紛失図書があり、書籍数も十分でない。

【改善方策】

計画的に老朽化した機材の交換を検討する。図書館の書籍数など早急に改善をしていく必要がある。

VI-33 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

【課題】

学内外の実習施設は整備されており、臨床実習もカリキュラムの中で十分に行われている。海外研修制度等は学科としては行われていない。

学外実習について、新規に臨床実習施設の登録を平成 26 年度臨床実習のために 4 施設追加し、平成 27 年度臨床実習に向けて 6 施設追加した。

【改善方策】

今後は、グローバル社会に対応すべき、海外研修を希望する学生が出てきた場合は、個別的には対応していきたい。また、学内、臨床実習体制の整備についていく。

VI-34 防災に対する体制は整備されているか

【課題】

年に 1 回防災訓練を実施し、教職員ならびに学生に対して防災意識の向上を図り、避難方法、避難経路等の確認をしている。しかし、防災訓練は年に 2 度行うことが奨励されており、頻度として十分とは言えない。

【改善方策】

教育カリキュラム上、防災訓練を年に 2 回実施していくことは困難であるが、救急救命学科にて消防設備点検を毎月 1 回実施していく。また、消防署と連携を図った防災訓練を 2 年に 1 度実施し、避難方法等に対するフィードバックを消防職員から直接受けることで、内容の充実を図っていく。

Ⅶ. 学生の受入れ募集

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや適切、1：不適切

評価項目		4	3	2	1
35	学生募集活動は、適正に行われているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
36	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
37	学納金は妥当なものとなっているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Ⅶ-35 学生募集活動は、適正に行われているか

【課題】

広報・入試委員会により学生募集活動組織の強化を図る。高等学校の進路指導室への訪問等を計画的に行い、本校に対して興味を抱く高校生が増えるように努めている。しかし、本校を幅広く伝えていくためには進路指導教員のみならず、その学校全体に対するアプローチも必要である。

【改善方策】

高等学校単位での本校見学会、各高等学校への訪問授業等の機会を増やしていく。

Ⅶ-36 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

【課題】

基本的に学校案内パンフレット等による説明を行っており、本校の教育成果等の現状については全体会議等で審議を行って、全教職員が統一して伝えていくことができるように努めている。しかし、現状として、高等学校によって理解度の差異が見られている。

【改善方策】

継続して、計画的で統一した学生募集活動を行っていく。また、前述と同様に、高等学校と関わる機会をより増やしていく。

Ⅶ-37 学納金は妥当なものとなっているか

【課題】

北陸3県の同系専門学校と比較して、理学療法学科ならびに作業療法学科の学納金の額は、低い水準である。介護福祉学科は、高い水準である。救急救命学科は、北陸3県では本校が唯一の専門学校であるため比較はできないが、関西方面の専門学校と比較すると同水準である。

【改善方策】

経済状況や学費納付率のほか、他校との水準を比較検討し、金額の妥当性について定期的に確認のうえ、学費体系の見直しを含め改善していく。

VIII. 財務

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや適切、1：不適切

評価項目		4	3	2	1
38	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
39	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
40	財務について会計監査が適正に行われているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
41	財務情報公開の体制整備はできているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

VIII-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

【課題】

総定員に対して学生充足率が低く、入学者が定員に達していない状況である。安定した財政基盤の確立を図る必要がある。

【改善方策】

既存学科の入学者確保を強化する一方、新たな事業計画として、平成27年度より介護福祉学科における附帯教育事業として、「介護実務者研修科（通信課程）」および石川県職業委託訓練「介護福祉士養成コース」を設置した。今後も、財政基盤の安定化を図る。

VIII-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

【課題】

単年度における予算・収支計画は、経費の削減を行い適正に実施されているが、中長期的な予算・収支計画が現状の学生充足率では適正に実施できない。

【改善方策】

財政基盤の安定化を図る。

VIII-40 財務について会計監査が適正に行われているか

【課題】

年2回の会計監査を実施しているため、適正に行われている。

【改善方策】

継続して第三者による点検を実施していく。

VIII-41 財務情報公開の体制整備はできているか

【課題】

平成26年度より、財務情報についてHP上で公開している。

【改善方策】

今後も継続して財務情報公開を行う。また、情報公開する内容・項目についても法人本部と連携しながら検討していく。

IX. 法令等の遵守

4: 適切、3: ほぼ適切、2: やや適切、1: 不適切

評価項目		4	3	2	1
42	法令、専修学校の設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
43	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
44	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
45	自己評価結果を公開しているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

IX-42 法令、専修学校の設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

【課題】

平成27年度に教員の定数を満たしていない学科がある。そのほかの項目は、ほぼ達成できている。

【改善方策】

定数を満たすよう継続的に求人活動を行う。また、法令・設置基準の順守等については、組織内に監査部門を設置し、定期的な点検を行うことで、適正な運営を行う。

IX-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

【課題】

ほぼ適正に実施されている。

【改善方策】

個人情報保護のための規程を見直し、定期的な点検も含めて適正な運営を行う。

IX-44 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

【課題】

教務活動、学校環境等に対する振り返り・課題に対する改善策の検討と実施、各イベントの振り返り等を例年行っている。平成26年度より「専修学校における学校評価ガイドライン」（平成25年3月文部科学省策定）に基づく自己評価を実施している。

【改善方策】

「専修学校における学校評価ガイドライン」（平成25年3月文部科学省策定）に基づく自己評価を実施していくことで、全教職員が学校・学科の現状、課題を把握し、より広い視野で改善方策を見出していくことができるように努める。また、毎年3月に当該年度の自己点検・自己評価を計画的に継続して行っていく。

IX-45 自己評価結果を公開しているか

【課題】

本校ホームページのトップページに情報公開バナーを設け、本校の情報を閲覧することができるよう公開している。

【改善方策】

年次単位での自己点検・評価を計画し、自己評価が終わり次第、随時公開していく。

X. 社会貢献・地域貢献

4: 適切、3: ほぼ適切、2: やや適切、1: 不適切

評価項目		4	3	2	1
46	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
47	学生のボランティア活動の奨励、支援をしているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
48	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

X-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

【課題】

教員が所属する団体や学会等からの依頼に対し、研修会・講習会等を開催する際に学校施設を会場として提供し、また、教員の派遣を行っている。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施し、その活動範囲の拡大をはかっていく。

X-47 学生のボランティア活動の奨励、支援をしているか

【課題】

当該項目は達成できている。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施する。また、必要に応じて改善する。

X-48 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか

【課題】

市民公開講座等を開催することにより、社会貢献・地域貢献活動を行っている。また、平成 27 年度より介護福祉学科における附帯教育事業として、「介護実務者研修科（通信課程）」および石川県職業委託訓練「介護福祉士養成コース」の受け入れを行う。

【改善方策】

今後も現行の取り組みを継続的に実施し、その活動範囲の拡大をはかっていく。